

近年、乙訓青年会議所は地域の発展に寄与し、組織の存在価値を高めるべく、様々な手法を用いて運動や活動を広く発信してきましたが、情報の浸透が充分ではないため、地域の方々の認知は未だに高いとはいえません。正会員メンバーとして、乙訓青年会議所は魅力溢れる組織であるということを自負し、積極的な活動と地域の方々に対して心を揺さぶる強い発信力をもって認知度を向上させるとともに、共感や信頼を得なければなりません。

まずは、広報誌やホームページでは、地域からの認知度を向上させるために、地域の方々が求める情報を常に探求するとともに、日々の活動や運動を様々なツールを活用しながら積極的に発信することで、乙訓青年会議所の魅力を地域に広く拡散致します。そして、京都ブロック協議会会長公式訪問では、事業の参加意欲を向上させるために、京都ブロック協議会の方向性をメンバー全員で共有することで、事業に対する想いやビジョンを深く理解して頂きます。さらに、4月メモリアル100%出席例会では、乙訓青年会議所の運動の方向性を再認識するために、先輩諸兄姉が築いてこられた運動の軌跡を振り返ることで、JC活動の歴史や脈々と受け継がれる想いを共有して頂きます。また、10月例会では、乙訓青年会議所のさらなる活性化に繋げるために、出向経験者が出向先で得た経験を伝える機会を創出することで、組織の新たな魅力を感じ、出向と活動の意欲を向上して頂きます。そして、メンバーには人との出会いやさらなる成長の機会を得て頂くために、各種事業の情報提供や取りまとめを迅速かつ、丁寧に行うことで、参加者の増加に繋がります。

むすびに、広報を担う共感創造委員会として、委員会メンバー自らが青年会議所運動の本質と活動の楽しさを広く伝えられる発信力を身に付けます。そして、地域の認知度向上から得られるメンバーの誇りの醸成とともに、乙訓青年会議所ブランドの確立に繋がります。